

## 価値にもとづく医療技術の価格設定における頻度論流推測

**【背景】**医療経済評価は医療資源配分の問題に対して重要な役割を果たしてきた。古典的な医療経済評価の目的は医療技術の費用対効果が優れているのか評価することであったが、近年は医療技術の価値にもとづき価格を設定するという目的に移行しつつある。2019年に中央社会保険医療協議会に導入された費用対効果評価制度も、価値にもとづく医療技術の価格設定の思想を取り入れている。

**【目的】**価値にもとづく医療技術の価格に対する頻度論流推測法を提案する。

**【方法】**価値にもとづく医療技術の価格設定に関する文献を調査した。医療技術の価格と費用対効果の閾値の関係式を導出した。価値にもとづく医療技術の価格に対する推定量を推定方程式から構成した。提案する推定量を仮想データに適用した。

**【結果】**医療技術の費用対効果が優れているのか評価するための統計的手法は様々なものが提案されていたが、価値にもとづく医療技術の価格に対する統計的推測法は全くと言ってよいほど研究されていなかった。価値にもとづく医療技術の価格は、費用対効果の閾値の1次関数であった。提案する推定量の性能を仮想データに適用した結果は当日発表する。

**【今後の展望】**医療経済評価は、特に医療経済モデルを用いる場合、ベイズ流に実行・解釈されることが多いため、価値にもとづく医療技術の価格に対するベイズ流推測法も開発したい。

### 【文献】

Claxton K, Briggs A, Buxton MJ, et al. Value based pricing for NHS drugs: an opportunity not to be missed? *BMJ*. 2008; 336:251–254.

白岩健. 費用対効果評価の制度化にあたって【その2: 価格調整等の概要】. *Monthly IHEP*. 2019;284.

鎌江伊三夫. 厚生省新 HTA 制度 第 6 回 医薬経済学から見た価値と価格の関係—価値に基づく価格決定のサイエンスとアート—. *医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス*. 2018;49:805–810.

鎌江伊三夫. 厚生労働省新 HTA 制度第 7 回 続・医薬経済学から見た価値と価格の関係—財政インパクト, 不確実性, そして VBP の国際標準にどう対処するか—. *医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス*. 2019;50:135–141.